

上田市教育委員会10月定例会会議録

1 日 時

平成26年10月22日(水) 午後2時40分から午後4時18分まで

2 場 所

上田市教育委員会(やぐら下庁舎) 2階会議室

3 出席者

○ 委 員

委 員 長	城下 敦子
委員長職務代理者	小市 正輝
委 員	山崎 順子
委 員	寺島 滋
教 育 長	小山 壽一

○ 説 明 員

西入教育次長、浪方教育参事、齋藤教育総務課長、倉島学校教育課長、岩倉生涯学習課長、宮崎人権同和教育政策幹、浅野文化振興課長、滝沢スポーツ推進課長、北沢丸子地域教育事務所長、柳沢真田地域教育事務所長、児玉武石地域教育事務所長、大塚第二学校給食センター所長、神林中央公民館長、大滝川西公民館長、倉澤博物館長

1 あいさつ

2 〈協議事項〉

(1) 重点目標の中間報告について（教育総務課）

- 資料1により齋藤教育総務課長・倉島学校教育課長・文化振興課長
・生涯学習課長・スポーツ推進課長説明（要旨）

教育委員会事務局の重点目標の進捗状況について中間報告を行う。重点目標は以下の5項目であり、自己評価については、目標どおり進捗を表す「○」としている。

- ・『上田市教育支援プラン』の推進
 - ①学力向上と不登校対策
 - ②児童一人ひとりに応じた指導体制の充実
 - ③学校給食に関する基本方針の検討
 - ④地域に信頼され、地域に開かれた学校づくり
- ・「学校施設の耐震化推進と教育環境の整備」
 - ①小中学校施設の耐震化事業の計画的な推進
 - ②小中学校施設の計画的な整備
 - ③小中学校施設・設備の計画的な改修と日常的な営繕の充実
 - ④学校施設設備の充実
- ・「新たな文化創造を育む環境づくりと文化遺産の継承」
 - ①文化の薫るまちづくりに向けた文化団体との連携、市民と協働した文化事業の推進
 - ②市民や文化団体との連携による子どもたちの芸術鑑賞・体験機会・育成機会の充実
 - ③史跡等整備推進・無形民俗文化財等保護継承
 - ④郷土の文化・歴史、偉人の業績等を知る機会の創出
- ・「生涯学習の推進による地域の教育力の醸成」
 - ①社会教育施設の計画的な整備
 - ②地域や大学と連携した学校を支援する取組の推進
 - ③青少年育成関係団体の連携化及び地域リーダーの育成推進
 - ④人権同和教育・啓発の推進
- ・「生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備」
 - ①市民のスポーツへの関心や参加意欲の促進及び生涯スポーツ社会の実現のための施策
 - ②総合型スポーツクラブの活動支援
 - ③スポーツ施設整備の推進

- 質疑

寺島委員

重点目標管理シートは、上田市の各部局が全部つくっているものか。

齋藤教育総務課長

はい。

寺島委員

フォーマットは全部同じか。

齋藤教育総務課長

同じである。

寺島委員

『上田市教育支援プラン』の推進」の中間報告ということで最終ではまた違った形で報告があるのかわからないが、例えば中学校5校に専科教員を配置したということについて、効果を見るために事前にアンケートを実施したとあるが、報告ということになると実施したということではなく、具体的にアンケートをした結果どうだったのかということが本来の報告に入っていなければならない。すべてが何をやったかという作文で報告が終わってしまっている気がする。1回目はこうだったというところまでコメントが欲しい。全体として最終報告されるということであれば、それはそれでよい。

それから同じようなことで、例えばスクールカウンセラーを各1名配置したということであるが、これも支援体制の充実を図っているとあるが、どう充実されているのかということも報告になればその部署だけでこうしているということだけで終わっている。

同じように給食に関するところで、調理方式、運営体制に係る課題の洗い出しを行ったということであれば、具体的にどのようなことが課題として洗い出されたのかということが報告としてあってしかるべきではないのか。こういうことをやりましたということだけでは実際、報告ではなくペーパー上だけである。中身のところを具体的に報告しておかないと、具体的に何をどう変えていくのか次のステップに進まない。各部署だけの考えで終わってしまうような感じがする。これは中間報告ということなので最終的にはもう少しその結果どうでどうするか細かい部分の報告をいただきたい。

倉島学校教育課長

昨年も同様な意見をいただいた。最終的に期末報告の段階では何件できたとかそういうことだけではなく、それによってどのような効果があったのか、あるいは、効果が必ずしも出てこない、書きづらいような場合にはこのような感想が出たとかそういったことも含めて示すようにしてまいりたい。アンケートであるが、アンケートの結果については、毎年母体によって例えば算数がよくわかるようになったということが昨年と比べてどうかという難しい部分もある。従って、1回目はこうだったが2回目はこうなったというような書き方で期末報告をさせていただきたい。

寺島委員

中間報告だからということもあるかと思うので、最終報告については、具体的に結果についても簡単に結構なので報告していただきたい。

城下委員長

中間報告だからこれでいいという感じの空気が流れているが、私としては、これを見させていただいたときに昨年だけではなくここ数年、これだけ見ると内容に厚みがないと思う。表現をもっと工夫して書き込んでもらわないと説明責任を果たした書き方にはなっていない。内容が薄っぺらで厚みがないとの意見がここ数年出ている。フォーマットに制限があるのでいろいろ書き込むこともできないし、盛り沢山にするには無理があるかもしれないが。

もう一点は、中間報告としてここに出す前に、何か検討会議をやったときには定例会のタイミングでこういったことを協議したという報告があると良いのではないかと。中間報告まで

引き延ばしてここに全部入れようとする、项目的にも無理がある。例えば、スポーツ推進課の「生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備」のスポーツ施設整備の推進のところでは、各スポーツ施設担当者による会議を開催し、いろいろ調査したり検討したりしたわけであると思うが、会議の開催が終わった段階の定例会のタイミングで、いつこのような会議を開催し、このような内容だったということを報告してもらえれば、私たちも毎月毎月そういった流れを頭の片隅に感じ理解しながら進めていかれると思う。このことは定例会の持ち方に話が行っているが、方向的にはどうか。

齋藤教育総務課長

フォーマットに制約があるのは事実である。定例会で逐次、報告を入れていくという定例会の持ち方、議題の挙げ方にも関係してくる。逐次報告をしていくことは私自身も非常に大事なことだと思っている。先ほどの教育総務課担当の給食基本方針の関係についていえば、先ほど申し上げなかったが、これは教育委員の皆さんにしかるべきときにお諮りする、あるいは今こんなことを考えているというようなことを逐次報告しなければならない事項だと思っている。それから、具体的にどう充実が図られたのか、そういったことについてはここ2、3年いつもこの場で話題になるところであり、どう表現したらいいのか難しい部分もある。いろんなご意見を参考にさせていただき、委員会の議題のあり方も含め工夫をさせていただきたい。

小市委員

関連して、「上田市教育支援プラン」の推進のところは日常的な積み重ねが非常に重要な部分があり、こういう施策を打ったらそれが成果としてすぐ上がってきたというにはなかなか言えない部分がある。特に日々子どもたちの生活と直結している部分がたくさんあるので、それをどのような形で報告するかこれから知恵を絞っていかなければいけない。非常に難しいということは理解させていただきたい。ただ、学校給食に関する基本方針の検討についてもここ数年中身の記述の仕方が大きく変わっていないし、答申をいただいている経過があるので人事異動等があつて先ほど情報を共有化したという話があつたが、少し前進に向けて歩み出していく必要がある。従って、最後のところで○か△かという話があつたが、私は、評点は○でいいかと今回は思っている。特記事項のところに書いてあるが、小学校や中学校での新しい生活の不安を軽減するために云々と書いてあり、またこの取り組みにより児童生徒にとってわかる、楽しいと思える授業づくりを進め、学力の定着と向上を図ります。と書いてあるが、この中には過程がたくさんある。例えば、幼保小中がそれぞれの役割を相互に理解し合い、それぞれの年齢に応じた教育が丁寧に、そして充実して行われるよう努めるとともにこういうことを願っていきたいという、日常的なものの積み重ねがあつてこそ実現が図られていくということがどこかに記述されてもいいのではないかと感じた。

山崎委員

重点目標シートを見させていただき、昨年、一昨年と、自分の中で変化があつた。それは何かというと、今までは文章だけを読んでいると文章では入ってくるが具体的な場面が想像できなかった。先ほど言われたように中身が薄いような気がするという発言を昨年した。今年は何が違ったかということ、ここに書いてある文章のことが何校か行った学校訪問のなかの場面で、このことをいっているんだというのが私のイメージの中に具体的な場面として映るようになった。やはり、文章だけ見るとやりました、何パーセントとなっているが、ここにきてやっと学校訪問の大切さをしみじみ感じている。文章からはなかなか読み取れない部

分があるので、今、この場所で、例えばこういうことをやった、84%である。これは25校分のうちの21校であるという話をここの場でしてもらおう。それがここでの報告というか、厚みを持たせるための報告にはならないのか。その都度、その都度、定例会に要旨としてあがってくることも大事であるが、時間が過ぎてしまうと、記憶が薄れていってしまうので、資料をもらったときにこれはこういうことだということを厚みを持たせた説明をしていただけるとありがたい。

スタートカリキュラムについても先日、神科小学校を訪問したときもやはりいい取り組みだということを校長先生から伺い、私たちも子どもたちの様子を見て確かに素晴らしい取り組みをされていると実感した。そういうことがなかなか会議だけではわからないので、そのようなところを丁寧に説明していただけるとよりわかりやすくなるかと思う。

小市委員

「生涯学習の推進による地域の教育力の醸成」の中で、地域や大学と連携した学校を支援する取り組みの推進ということで、この中間報告を読ませていただくと、北小をはじめいくつかの学校で新たな取り組みがなされているかと思う。この取り組みは非常に重要なことだと思っているので今後も是非継続していただきたいと同時に拡大していくことが必要ではないか。学力向上の面からしても福井県や石川県、富山県や秋田県はかなり高い順位を占めているが、その順位を調査したところによると、人と人とのつながりが非常に深く濃いところがあるという状況があったと聞いている。そのように考えると、地域の皆さん方と子どもとが結びつきをする。また、子どもたちと地域の人たちがつながっていくという、これは、学校においても先生と子どもたちはつながっている、お互いに信頼し合うということが非常に大事になってくる。おそらく、このような活動をしてみると、地域の皆さん、学校の先生方が非常に頑張って一生懸命やってくれているとなると、なんとかして応援していきたいというムードになる。そういう意味でも非常に重要なことだと思う。今後さらに拡大をし、各学校でも働きかけをしていく必要がある。教育委員会としても取り組むことが重要ではないか。

城下委員長

「生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備」の中にスポーツ施設整備の推進があるが、今年度だけで見切ったときには、具体的にどういったところを今年度の着地点として目指しているのか。

滝沢スポーツ推進課長

今年度については、スポーツ施設の現状等を踏まえてスポーツ推進審議会からご意見をいただき、構想のたたき台というか検討案的なものを年度内につくり、それをもとにして利用団体等の意見を聞いたりするなかで、来年度第二次上田市総合計画の策定もあることから、計画との整合性を踏まえ来年度中にスポーツ施設整備構想を策定してまいりたいと考えている。

城下委員長

26年度に関してはその前段階であるということでした。

小市委員

以前も基本的な計画を立てていくという話はあったように思う。またこの1年間経ってし

まっって前回の定例会では、審議会をもって実態を調査していくという話があったが、それぞれの施設に非常に経費がかかるところがたくさんある。真田の運動公園は全部整備していただき非常に快適に使わせていただいている。お金がかかることだができるだけ早く基本計画を立てて進めていただきたい。

寺島委員

優先順位3位の文化団体との意見交換に市内文化団体とあるが、具体的にどこか。

浅野文化振興課長

代表的なものとして上田市文化芸術協会がある。懇談会はこの団体とのものである。

城下委員長

中間報告の仕方というか、定例会の日には報告できるもの、経過を載せられるものは載せながらやっていただければと思う。全体的にみてもどの目標に対しても少しずつ前進がみられている。PR不足もあるかと思うがホームページやチラシを使ってPR不足にならないように気をつけていただきつつ、実績を積み上げていければと思う。

○ 全委員 了承

(2) 特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部改正について (学校教育課)

○ 資料2により倉島学校教育課長説明 (要旨)

就学奨励費は特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対して補助をする制度である。今回の改正は、国の要綱が一部改正されたことから上田市の要綱も一部改正するというものである。施行期日は平成26年4月1日からである。

実態としては上限があるため、ほとんど影響しない。

・ 現行

対象経費の学用品・通学用品購入費で通学用品については第1学年を除く。

新入学児童生徒学用品・通学用品購入費の支給額が10分の10以内。

・ 改正後 (案)

対象経費の学用品・通学用品購入費で通学用品については第1学年も対象にする。

新入学児童生徒学用品・通学用品購入費の支給額が10分の5以内。

○ 質疑

山崎委員

大きな影響は現実的にはないという話だが、これを利用されているお子さんもいるかと思う。改正があったということはどのように周知するのか。

倉島学校教育課長

一覧表のチラシをつくりチラシによりお知らせするが、対象者が決まっているので、そのご家庭に直接送付する。

小山教育長

小学生、中学生分けて年額は総額でどのくらいか。

倉島学校教育課長

学年によって違うが、小学校だと限度額が新入学用品関係が10,235円であり、学用品・通学用品関係が5,710円、修学旅行は小学校6年生と中学校3年生が対象であるが、10,440円、校外活動費が775円、学校給食費が実費の2分の1ということで、給食費がだいたい50,000円でこの半分が補助になってくる。30,000円まではいかないが、これが一番大きな額でその他合計すると20,000円ぐらいであるから全部もらったとしても50,000円から60,000円の額になる。この対象者は現在400人ぐらいいるが実際に申請をされる方は300人ぐらいである。全員が申請するというわけではない。

小山教育長

予算はおおよそどのくらいか。

倉島学校教育課長

25年度の決算で実際に299人が受給しており、1,141万9,000円で小中合わせての数字である。

城下委員長

申請の月が決まっていてそこから1年間ということか。

倉島学校教育課長

多くの方は4月から入級しているのでこの4月から対象になるが、途中から入られる方もいる。その方は入られたあと申請をして3月までということになる。従って、小学校6年生、中学校3年生が修学旅行が終わっている段階で申請すると、修学旅行に関わる経費については対象外になる。それまでに過ぎてしまった通学費や給食費についても対象にならない。申請は随時行っている。

山崎委員

申請するのに新学期に入っている人、手帳を持っている人というきまりはあるのか。

倉島学校教育課長

療育手帳や身障手帳などは一切関係ない。その学級に就学指導委員会で認定され保護者も同意をし、実際に入級されればその時点で資格が生じる。

○ 全委員 了承

3 〈報告事項〉

(1) 学校教育関係寄附の状況（学校教育課）

○ 資料3により倉島学校教育課長説明（要旨）

県外在住、匿名希望の方から現金1,000,000円を、また、東京都中央区、畑田昌幸様より現金60,000円をいずれも学校教育活動支援事業としてご寄附いただいた。

○ 質疑

城下委員長

感謝状のようなものは贈られるのか。

倉島学校教育課長

それぞれ基準があり、それにあてはまる方については、感謝状あるいは丁寧なお礼状は出している。

城下委員長

感謝状を出す基準は何か。

倉島学校教育課長

会社か個人か、あとは金額である。

○ 全委員 了承

(2) 「第9回人権を考える市民のつどい」の結果について（生涯学習課）

○ 資料4により宮崎人権同和教育政策幹説明（要旨）

平成26年10月9日（木曜日）午後1時30分から3時40分まで上田市民会館で開催された。講師としてピーター・フランクルさん（数学者・大道芸人）をお迎えし、「違いを認めて 人生を豊かにする方程式」という演題で講演いただいた。入場者数は約1,000人であった。

今年度初めて呼んでほしい講師についてのアンケートを実施したので、来年度以降参考としたい。

○ 質疑

城下委員長

アンケートをとるのは初めてということだが、アンケートに載っていた先生方がこちらへ来て講演してくださればいい。来年からはサントミュージゼで開催するのか。

宮崎人権同和教育政策幹

サントミュージゼの大ホールで開催する予定である。

山崎委員

市民会館の階段を降りていく高齢の方が、階段で転んでしまった姿を目撃した。不規則な階段で歩きづらいというものもあるが、新しい会場になった場合そういうところも、人の手が入ればよりいいかと思う。

○ 全委員 了承

(3) 4大学リレー講座「未来学科」2014について（生涯学習課）

○ 資料5により岩倉生涯学習課長説明（要旨）

4大学リレー講座は大学連携の一環として「未来学科」を開設し、大学の「最先端の学び」を、生活や地域づくりに役立ててもらうことを目的としている。終了後には希望者によるキャンパスツアーも実施している。開催日は11月8日（土）から12月13日（土）1

3:30～15:10までの計4回を予定している。受講料は無料で託児所を設けてある。広報うえだへの掲載を始め、学校や市の施設等へチラシを配布している。

○ 質疑

城下委員長

これは何回目になるのか。

岩倉生涯学習課長

6回目である。

城下委員長

昨年の参加率はどのくらいか。

岩倉生涯学習課長

昨年は249名の方に来ていただいた。24年度が284名、23年度が205名である。アンケートを取っているが、来年も是非参加したいということで大変よかったというアンケートをいただいている。

○ 全委員 了承

(4) 第18回うえだ城下町映画祭の開催について（文化振興課）

○ 資料6により浅野文化振興課長説明（要旨）

平成26年11月29日（土）と30日（日）に上田映劇、幻灯舎にてうえだ城下町映画祭が開催される。上映作品として「ゴジラ」、「あの電燈」、「サムライフ」、「青天の霹靂」などがある。なお、両日とも1部と2部に分かれており、最終日には劇団ひとり監督のゲストトークが行われる。

○ 全委員 了承

(5) 第28回上田古戦場ハーフマラソン実施報告（スポーツ推進課）

○ 資料7により滝沢スポーツ推進課長説明（要旨）

平成26年10月5日（日）に上田古戦場公園県営上田野球場にて第28回上田古戦場ハーフマラソンが行われた。ゲストに大島めぐみさんをお迎えし、大きな事故もなく無事終了した。参加人数は2,541名で、そのうち市内1,250名、県内838名、県外453名である。

○ 全委員 了承

(6) 丸子文化会館自主文化事業「カナディアン・プラス・コンサート」について

（丸子地域教育事務所）

○ 資料8により北沢丸子地域教育事務所長説明（要旨）

平成26年11月3日（月）にセレスホール（丸子文化会館）においてカナディアン・プラスが来日公演する。全国8か所を廻るうち、長野県では唯一、丸子文化会館で行う。コンサート終了後、市内の学校の吹奏楽部員と出演者とのワークショップも行う予定である。

○ 質疑

城下委員長

どのようなバンドか。

北沢丸子地域教育事務所長

1970年に結成された金管五重奏団で、演奏する曲は、ジャズから古典派、ルネサンス、中世音楽、ポップスまでに及んでいる。黒いスーツを着て白い運動靴を履くという独特の演奏スタイルということで海外で好評を博している。当時のメンバーは入れ替わっているが世界的に有名なブラス・クインテットということにはかわりない。

城下委員長

小学生や民間のクラブはご招待というわけにはいかないのか。

北沢丸子地域教育事務所長

一応この金額でお願いしたい。公演後のワークショップに参加するという事で、引率する先生については、無料で来ていただくようになるかと思う。

○ 全委員 了承

(7) 行事共催等申請状況について（学校教育課 生涯学習課 文化振興課 スポーツ推進課）

○ 全委員 了承

4 〈その他〉

(1) 倉沢博物館長より上田市立博物館企画展「濱村コレクション 能面狂言面」の説明（要旨）
平成26年10月18日（土）から11月24日（月）まで、上田市立博物館において「濱村コレクション 能面狂言面」企画展を開催する。同時に講演会が10月25日（土）に上田市民会館2階大会議室で開催された。

○ 全委員 了承

(2) 神林中央公民館長より公民館だより報告

○ 全委員 了承

(3) その他

山崎委員

先日、10月14日に台風がきたとき、学校が休校になった。倉島学校教育課長から連絡をもらったが、3連休のあとの休みだったので、休校にするという判断はかなり早い段階で判断して学校に通知をしたと思うが、その判断はどこで話し合っているのか。また、それを学校に通知をして、それと同時に平日に学校が休みになるので共働きの家庭は困ると思う。おそらく、児童センターなどを利用すると思うが、児童センターへの連絡はどのようにしているのか。

倉島学校教育課長

自然災害が予想される学校の対応は、基本的には各学校が判断をする。多くは授業を遅らせる、または早く下校をさせるというところが多い。各学校でいろんな状況が違う。例えば、スクールバスを使っているところ、定期バスで通学しているところがある。従って一律に時間を調節するのは難しい。今回の場合は、非常に規模が大きかった。ほぼ、日本列島を横断するだろうと想定され、上小地域も非常に強い雨、風の影響を受けるのではないかと想定した。3連休の翌日が最も危険だということで、まだ時間もあったので場合によっては空振りになるだろうという想定をしながら、しかし、逆の場合、朝6時に連絡をして急遽、休校にする、または何時に登校させてくださいという場合、保護者も困るし、むしろそのほうが危険度が高いということで全校一斉に休校にした。危険が全校に及びそうだということであれば学校教育課のほうで判断する場合がある。また、休校になった場合、授業を遅らせた場合、児童館、児童センターを早めにかけてもらえないかお願いをしている。ただ、人員体制が急なときは難しい場合もある。その場合、学校では、保護者に送ってきてもらえれば、授業はないがお預かりするという形をとっているところがほとんどである。今回のように早めに休校がわかった場合には、児童館、児童センターに金曜日のうちをお願いをしてできるだけ開けてほしいということで、かなり多勢のお子さんが利用されたと聞いている。

○ 全委員 了承

閉会